

# スライド作成チェックシート

構成について

部分	時間	ミッション	スライドの タイトルの例
序論	2～ 3分	<b>先行研究を示し、この研究の意義とオリジナリティを語る。</b> ・先行研究や背景で一枚か二枚、研究目的で一枚。 ・このパートは文章ではなく、箇条書きや分かりやすいレイアウトで書く。 ・ <u>箇条書きは体言止めだとかっこいい。</u>	研究の背景 研究の目的 調査課題・仮説
本論 前半	4.5～ 5.5分	<b>実際にやったことと結果を説明する。</b> ・やったことは一枚、二枚のスライドにまとめる ・結果は図や表で一枚か二枚にまとめる。注目すべきポイントをはっきりとさせる。	方法 結果
本論 後半		<b>結果を元に、新たにわかったこと（わからなくなったこと）をまとめ、次へつなげる。</b> ・考察は一枚か二枚。まとめは一枚。今後の展望は一枚か二枚。 ・このパートも文章ではなく、箇条書きメイン。 ・ <u>箇条書きは体言止めだとかっこいい（二回目）。</u> ・調査課題に対する進捗状況をはっきりとしよう。	考察 まとめ 今後の展望
結尾	0.5分	<b>先人たちや協力者たちへの感謝を表す。</b> ・参考文献は一枚、校外の協力者への謝辞は一枚。書き方は決まっています。	参考文献 謝辞

その他、全体的な注意

- ・文字のサイズは20～28pt、色は概ね本文（ベース）、見出しや装飾（メイン）、差し色（アクセント）の三つ

## ◆ 各スライドのチェック

下表にスライドの内容をまとめ、一スライドトピックになっているかをチェックする。

一番右の「中身チェック」は裏面からのダメスライドになってしまっていないか○。

番号	スライドの内容（トピックまで）	分類（該当するものに○）				中身 チェ ック
		序論	本論 前半	本論 後半	結尾	
1	基本情報（タイトル・発表班番号・班員全員のフルネーム）	—	—	—	—	—
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

分野と班番号

代表者の年組番と氏名



# スライド作成の参考資料

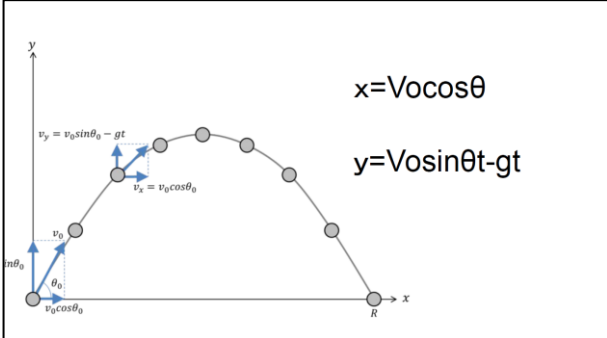

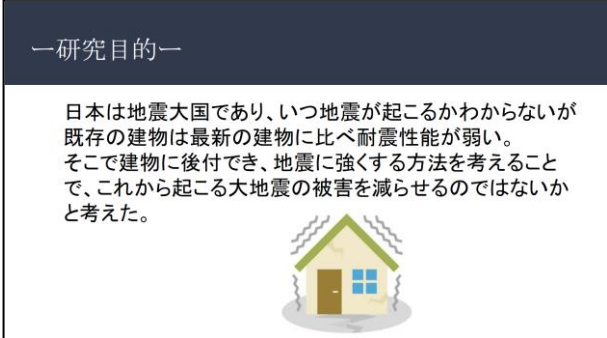
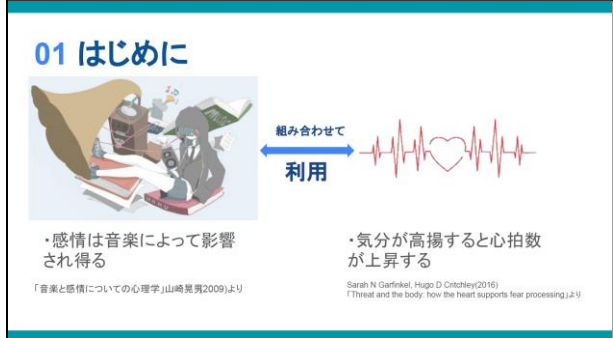
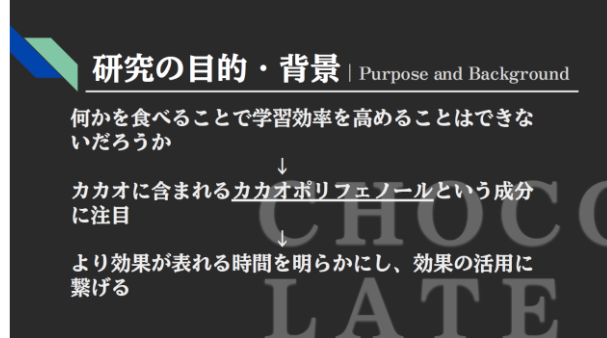
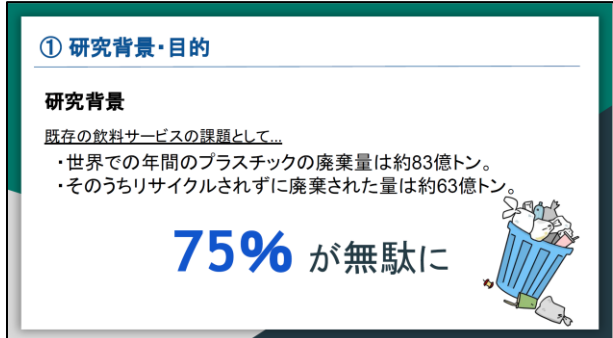
## (1) 序論

### ◆ 序論でのミッション

①先行研究を示し、②この研究の意義と③オリジナリティを語る。

- ①先行研究 過去の研究や統計データを示す。
- ②この研究の意義 今何が問題になっているのかを示し、だからこそ私たちは頑張っているとアピールする
- ③オリジナリティ 明らかにされていたことをはっきりとし、どこからが新しい知見なのかを伝える。

### ◆ ダメスライド例と改良案

ダメスライド	改良案
<p>①タイトルがない。図表のみでメッセージがない。</p> 	<p>最低限の文字は入れる</p> 
<p>②文字だらけ。要旨のコピペ。</p> 	<p>要約する。図や表を伴う。</p> 
<p>③テキストボックスの↓などを使って流れを表現しており、スペースに無駄が多い。</p> 	<p>矢印がなくとも目線は上から下へ、左から右へ流れるので、スペースは強調に使う。</p> 

(2) 本論前半：方法や結果

◆ 本論前半でのミッション

①実際にやったことと②結果を説明する

- ①方法 実験やアンケートの手法を説明する。
- ②結果 実験やアンケートを行う研究は五感で観察されることにとどめ、頭の中で解釈して判明すること（つまり、考えて察してわかること）はすべて考察に回す。

◆ ダメスライド例と対応策

ダメスライド	改良案
<p>①（実験をした人のみ）方法が箇条書きのみ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="156 622 312 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>使用するもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドミノ</li> <li>・メジャー</li> <li>・カメラ (iPhone13 pro)</li> <li>・振り子</li> <li>・分度器</li> </ul> </div> <div data-bbox="469 622 526 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>手段</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ドミノを並べる</li> <li>②振り子の角度を決め、ドミノを倒す</li> <li>③倒れる様子をカメラで録画</li> <li>④動画をストップウォッチとともに再生しドミノが倒れる速度を測る</li> <li>⑤この結果から等加速→等速と変化しているタイミングを探る</li> </ol> </div> </div>	<p>説明が難しいものほど、図や写真を多用する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>&lt;粒の作成方法&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 攪拌機の上に(溶液②)と回転子が入ったビーカーを置き、攪拌機を起動した。</li> <li>2. 図1に示したように、ろうとから(溶液①)を、枝の部分からオレンジの味の成分となる(溶液③)を滴下し粒を作製した。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>図1: 装置図      図2: 実験装置の滴下部分の拡大図</p> </div> <p>➤ 流れを明らかにするなら下のようなレイアウトも</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>03-2 実験方法</b></p> <p>人数: サッカー部15人    場所: グラウンド</p> <p>5人1グループとし A: サッカーボール 5号球    B: バスケットボール 5号球 C: バレーボール 5号球の3グループに分ける</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">step1</p> <p style="text-align: center;">飛距離の測定 1</p> <p>通常のサッカーボールでロングキックを蹴りその飛距離を測る</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">step2</p> <p style="text-align: center;">ボールに慣れる</p> <p>担当にボールで対人のロングキックの練習を5分間行いボールに慣れる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">step3</p> <p style="text-align: center;">飛距離の測定 2</p> <p>通常のサッカーボールでロングキックを蹴りその飛距離を測る</p> </div> </div> </div>
<p>②（実験、アンケートともに）装置のスケール、試料の数量など条件設定に関する情報がない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>調査手法</b></p> <p>スマートカートを毎回同じ速度で走らせ、もう一方のスマートカートの 上に水の 入ったビーカーを載せ、こぼれた水の質量を記録する。</p> <div style="display: flex;">   </div> </div>	<p>設定した数値は研究者のオリジナリティであることが多いので、必ず記載。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>06 プロトタイプ</b></p> <div style="text-align: center;">  <p>75cm    65cm    30cm</p> <p>45度    55cm</p> <p>▶65cm位置のボールを的として練習を行う</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>2. 研究方法</b></p> <p>(i) アンモニア水につける</p> <p>1.00 gのPLAを測定し1.56 mol/Lのアンモニア水溶液に2時間浸けた。(これを2つ用意しAとA'とする。) 2時間後取り出し水で洗った。</p> <div style="text-align: right;">  </div> </div>

③ (アンケートをした人のみ) 対象についての情報が不明瞭

対象者・期間・手法の三点が必須

調査方法 | METHOD

## 難単語テスト

90秒間の暗記の後に  
単語テストを行い短期記憶力を測る

**【調査方法①】**

対象者: 女子バレーボール部(8人)、女子、男子バスケットボール部(9人、11人)、野球部(16人)

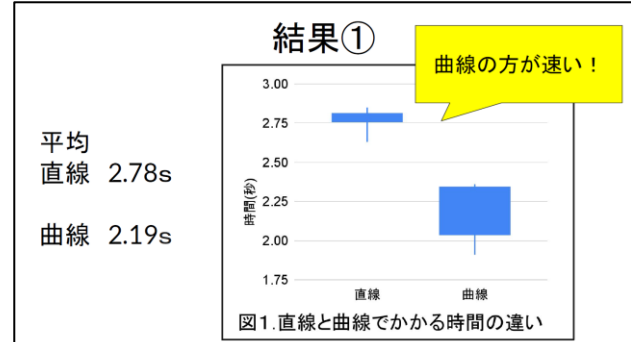
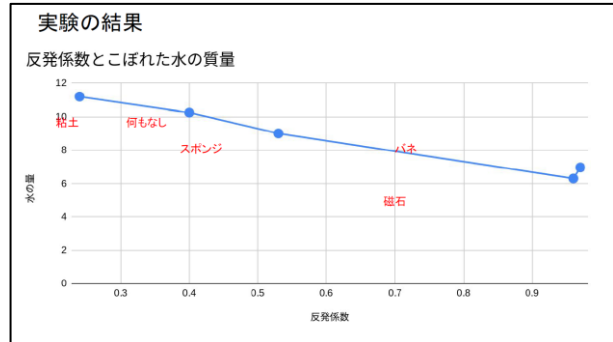
期間: 7月10日~9月10日

方法: ①部活後(もしくはお風呂上がり等)の体温が高い状態で、ストレッチを約3分間行う

②ストレッチを実施する実験の前後でどれほど柔軟性が向上し、運動パフォーマンスに変化を感じることができたかをGoogleフォームにてアンケート調査する

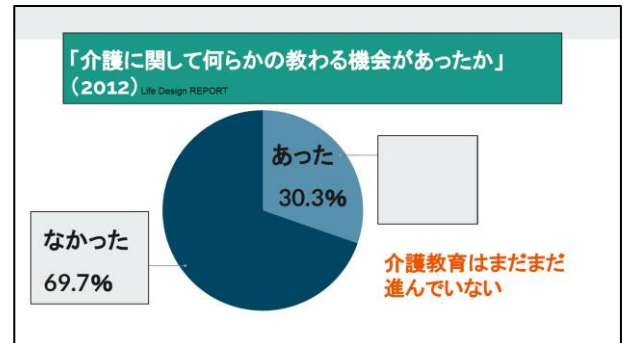
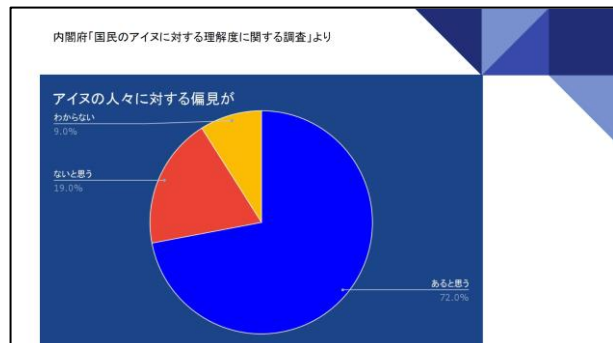
④ 図や表の数値の単位、エラーバーがない。どこを見てよいかわからない。

余裕があれば基本的な統計値も入れておく。



⑤ 図の値が見えない。スプレッドシートや Google フォームから貼り込んで、そのまま。

テキストボックスなどで補足しておく。



### (3) 本論後半：考察と次への展望

#### ◆ 本論後半でのミッション

結果を元に、①新たにわかったこと（わからなくなったこと）をまとめ、次へつなげる。

①考察 結果を見て発表者が行った解釈。オリジナリティが求められる。

#### ◆ ダメスライド例と対応策

ダメスライド	改良案		
<p>①文章ばかり</p> <div data-bbox="130 551 740 891" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p><b>考察①</b></p><p>「ユーザーの記憶に残る」「ユーザーが快適に楽しめる」という2つの要素が面白いゲームを作っていくうえで、特に大事な部分である。 「記憶に残る」要素はゲーム内容の根幹に関わるような要素となっており、それに付随する細かい要素として「快適に楽しめる」要素が関わってきている。</p></div>	<p>着目する事実が何で、それに対する解釈が何かわかるレイアウトにする。</p> <div data-bbox="842 551 1452 891" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p><b>— 05 考察 —</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>▶ サッカーボールよりも軽いバレーボールで練習を行った被験者全員の飛距離がマイナスになった。<ul style="list-style-type: none"><li>・軽いボールで練習をするとロングキックの飛距離が縮まってしまう。</li></ul></li><li>▶ 一回目と二回目の測定結果に大きく差がある人がいる。<ul style="list-style-type: none"><li>・測定回数を増やして実験する必要がある。</li></ul></li><li>▶ ロングキックで長い距離を出すために重さの違うボールを使用することは有効かという質問に50%がいいえと答えた。<ul style="list-style-type: none"><li>・違う視点からロングキックの飛距離を伸ばす方法を考える必要がある。</li></ul></li></ul></div> <p>➤ アイコンの使用も効果的</p> <div data-bbox="842 947 1452 1288" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p><b>④ 実験結果</b></p><p><b>② 膜の容器だけを形成した後、飲料を注入する</b></p><table border="0"><tr><td><p><b>👍 良点</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・アルギン酸ナトリウムの反応によってできる粘度の影響を受けない。</li><li>・どのような性質の飲料でも対応可能。</li><li>・対応可能な容量の幅が広い。</li></ul></td><td><p><b>👎 欠点</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・手間がかかる。</li><li>・膜を形成する難易度が上がる。</li></ul></td></tr></table></div>	<p><b>👍 良点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルギン酸ナトリウムの反応によってできる粘度の影響を受けない。</li><li>・どのような性質の飲料でも対応可能。</li><li>・対応可能な容量の幅が広い。</li></ul>	<p><b>👎 欠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手間がかかる。</li><li>・膜を形成する難易度が上がる。</li></ul>
<p><b>👍 良点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルギン酸ナトリウムの反応によってできる粘度の影響を受けない。</li><li>・どのような性質の飲料でも対応可能。</li><li>・対応可能な容量の幅が広い。</li></ul>	<p><b>👎 欠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手間がかかる。</li><li>・膜を形成する難易度が上がる。</li></ul>		
<p>②データが悪かったのは失敗したからという理由で片づけている。</p>	<p>➤ ・なぜ失敗したのかを考える。</p>		